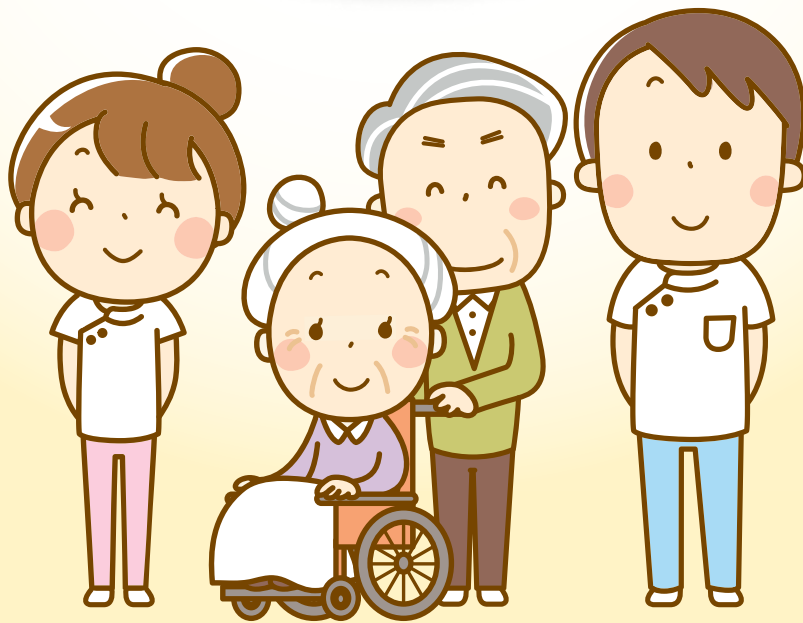


令和3年度

がんばる  
介護事業所  
表彰



高齢者の自立支援や生活の質の向上、雇用環境の改善  
に取り組む富山県内の介護事業所等を紹介します

# 「がんばる 介護事業所表彰」とは…

高齢者の自立支援や尊厳の保持に資する良質な介護サービスの提供や、  
介護職員の意欲向上につながる  
人材育成の充実・職場環境の改善などに積極的に取り組み、  
他の模範となるような顕著な成果を出している介護事業所等を表彰し、  
これを広く周知することにより、  
介護サービスの質の向上や介護人材の安定的確保を図るものです。

(平成28年度創設)

以下の2部門を設定し、それぞれ該当する事業所等を表彰しています。

## 自立支援部門

(旧：要介護度維持改善部門)

県内で以下のサービスを提供しており、かつ開設から2年以上経過している介護保険施設・事務所

- ◎介護老人福祉施設 (地域密着型を含む)
- ◎介護老人保健施設
- ◎介護医療院
- ◎介護療養型医療施設
- ◎通所介護 (地域密着型、療養通所介護を含む)
- ◎認知症対応型通所介護
- ◎通所リハビリテーション
- ◎訪問介護
- ◎訪問入浴介護
- ◎訪問看護
- ◎訪問リハビリテーション
- ◎夜間対応型訪問介護
- ◎定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ◎居宅介護支援
- ◎特定施設入居者生活介護 (地域密着型を含む)
- ◎認知症対応型共同生活介護
- ◎小規模多機能型居宅介護
- ◎看護小規模多機能型居宅介護
- ◎福祉用具貸与・販売
- ◎居宅療養管理指導

- 【取組み例】**
- 利用者の状態に合わせた個別訓練メニューの作成により、身体機能改善者が増加
  - ケアプランに「聞き書きボランティア」などインフォーマルサービスを取り入れたところ、認知症の症状が改善 など

### 令和3年度受賞事業所等一覧

事業所(施設)名	所在地	事業所(施設)名	所在地
あさひの里	高岡市	地域密着型特別養護老人ホームささづ苑	富山市
あいの手ケアセンター	氷見市	ケアハウスそよかぜの郷	富山市
射水万葉会天正寺サポートセンター	富山市		

# 表彰式

令和3年12月27日(月) 於：県庁3階特別室にて



## 雇用環境部門

県内で高齢者福祉サービス又は障害（児）者福祉サービスを提供しており、かつ開設から5年以上経過している以下の要件を全て満たす法人・事業所

- 【要件】
- ① 労働基準法等、法令に沿った就業規則の整備
  - ② 労働基準法など労働関係法令、その他法令について過去3年間無違反
  - ③ 処遇改善加算Ⅰの届出

- 【取組み例】
- 新人職員の研修の実施指導担当者に対する独自の内部研修の実施
  - 看護休暇・介護休暇の設定など育児、介護を両立できる取組みの実施
  - 職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボット等の導入
  - ICTの活用による職員の負担軽減や業務省力化
  - 職員表彰制度の導入
- など

### 令和3年度受賞事業所等一覧

法人（事業所）名	所在地
社会福祉法人あかね会	高岡市
(医療法人財団五省会)介護老人保健施設みどり苑	富山市
社会福祉法人喜寿会	射水市



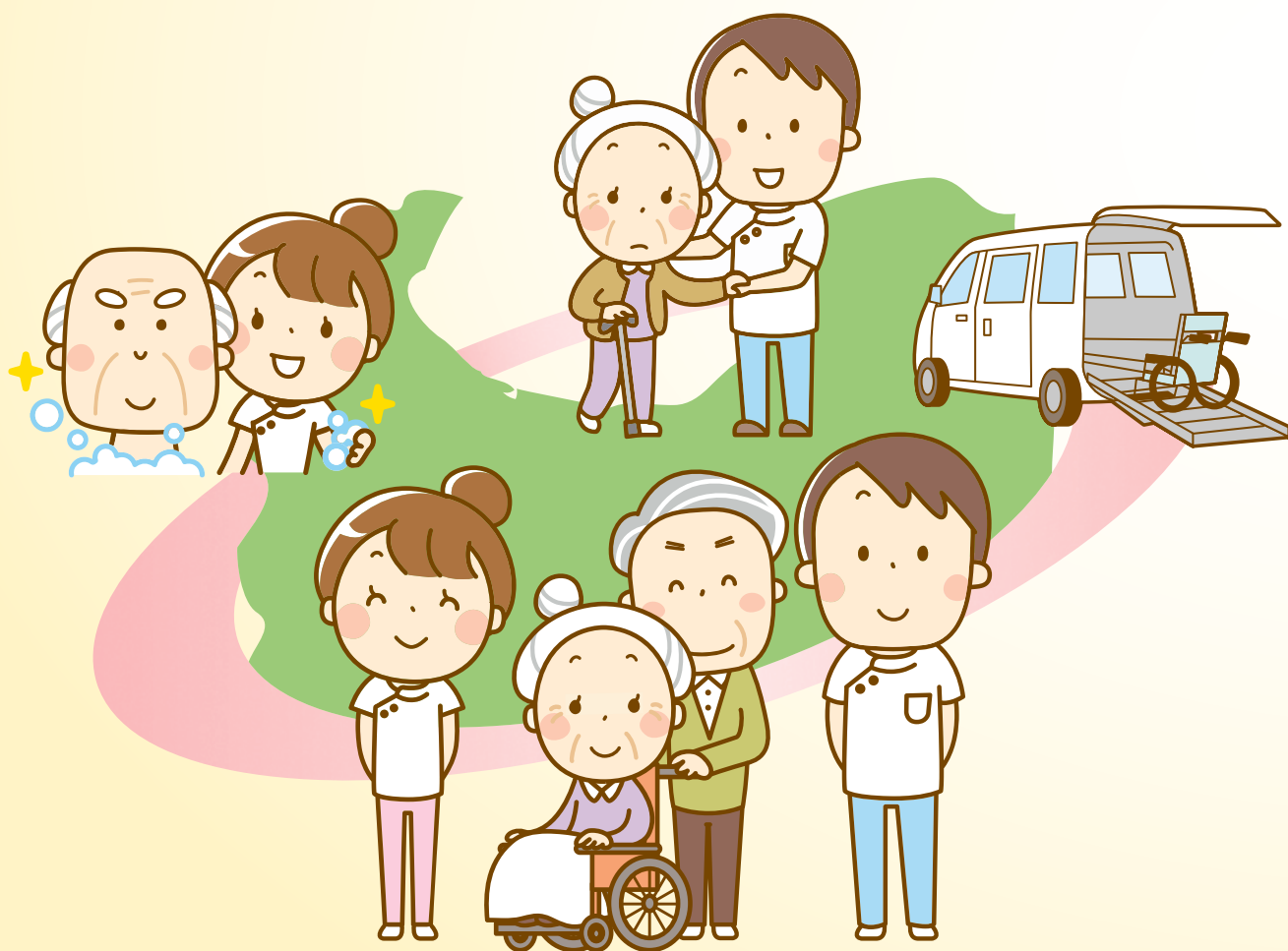
# 表彰の経過等

【募集】 令和3年9月～10月

【選考】 令和3年11月16日（火） 自立支援部門  
令和3年12月10日（金） 雇用環境部門

【表彰式】 令和3年12月27日（月）  
会場：県庁3階特別室

【審査・選考方法】 有識者による検討会の審査をふまえ、県が決定



# 自立支援部門

社会福祉法人あかね会

## あさひの里

**所在地** 高岡市鷺北新185番地

**サービス** 通所介護、定期巡回・随時対応型訪問介護

**電話** 0766-21-8688

**URL** <https://akanekai.toyama.jp/>

### 評価のポイント

- ★利用者のニーズに応じた個別のレクリエーションプログラムを作成することで、男女問わず施設を利用しやすい環境づくりを促進
- ★ICTを活用することで、関係者が訪問介護の状況をリアルタイムで情報共有

### 取組みを始めた背景・経緯

「1人でも多くの人に自立した楽しい生活をしてもらいたい。」という思いを実現するために、通所介護では、男性も女性も楽しく過ごせるデイサービスを、訪問介護では、当初サービス展開していた集合住宅の住人だけでなく地域の方々が安心して生活ができるサービスを提供するための取組みを具体的に進めていきました。

### 取組みの概要・特徴・成果

#### 通所介護：男性も女性も楽しく過ごせるデイサービス

##### 【丁寧なアセスメント】



##### 【1人1人に合ったプログラム】



- 集団プログラム**  
→参加者の意欲別に区分して実施
- 個別プログラム**  
→消極的な人でも参加しやすいように

##### ★取組の成果★

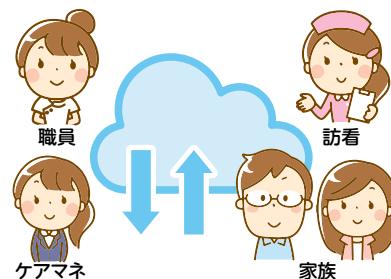
- 男性利用者**  
(全体の52%)
- リハビリによる改善**  
(例：排泄介助が必要な方  
→自力でトイレでの排泄)

#### 訪問介護：地域の方が安心して生活ができるサービス

##### 【サ高住でのサービス提供】



##### 【クラウドによる情報共有】



##### ★取組の成果★

- 地域展開が可能に**
- 訪看との連携で「看取り」も対応**

2つの事業所が協力し、連携することでリハビリと在宅での自立支援が可能になりました。

サ高住に入居しているデイサービスの男性利用者の方が施設開催の料理教室に参加したり、男女が交流しながら麻雀をしたりするなど、複合施設である「あさひの里」全体が、自立を目指し楽しい時間を過ごす場所となっています。



麻雀で交流する様子

# 自立支援部門

社会福祉法人ひみ福祉会

## あいの手ケアセンター

所在地 氷見市阿尾410番地

サービス 定期巡回随時対応訪問介護・看護

電話 0766-88-0383

URL [http:// www.care-net.biz/16/tumamaen/b13.php](http://www.care-net.biz/16/tumamaen/b13.php)

### 評価のポイント

★本人を自立へと導くようなサポートを行うことで、本人が自分でできることを増やし、生活の質の向上に貢献

### 取組みを始めた背景・経緯

加齢や認知症を理由に、在宅生活が難しくなってきた高齢者が増えています。身の周りの事や家事がうまくできなくなっても、ちょっとした声かけや、本人にとってわかりやすい方法を見つける事で在宅生活継続の支援ができないかと考えました。

### 取組みの概要・特徴

住み慣れた地域や住まいで、自分らしい暮らしを継続していただくために、事業所内での利用者への取組み課題を「自立支援」としました。在宅生活を継続するには、出来る事を増やす事（減らさない事）が大切です。利用者が自分でできる事を明確にし、自立へと導くようなサポートが必要と考え、週間予定表の作成や毎日の声かけ、一緒に作業するなど、個々にあったサポートを行いました。



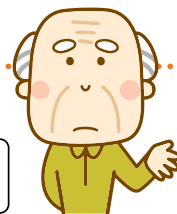
火曜日は何ができそうかな?

【一緒に決めた週間予定】

(月)	掃除	ゴミ出し
(火)	洗濯	入浴
(水)	買物	ゴミ出し
(木)	掃除	入浴

### 特に工夫した点・苦労したこと

利用者にしてできる事やしたい事、思い描く生活を聞き、その中で、実践できる事を話し合い、それぞれの利用者に必要な支援内容を決めました。

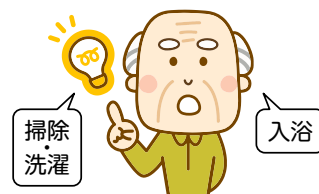


洗濯ならひとりで行われるかな...

### 取組みの成果

#### 利用者の立場から

- 忘れていても、ヘルパーさんに声をかけてもらうだけで服薬・入浴・掃除・洗濯等が出来るようになりました。
- 自分でする事を決めたので、やる気ができました。
- ヘルパーさんが来る前に自分でしてしまおうと思いました。



#### 職員の立場から

- 今まではできないと思い、こちらで援助していた事も、声かけがあれば出来る事がわかりました。
- 出来る事が増えた事で利用者の生活にハリができ、生き生きとし、表情が豊かになりました。



# 自立支援部門

## 社会福祉法人射水万葉会 射水万葉会天正寺サポートセンター

所在地 富山市天正寺484番地1

サービス 小規模多機能型居宅介護

電話 076-411-4040

URL [http://www.imizu-manyoukai.or.jp/kaigo/support\\_center\\_tenshoji/](http://www.imizu-manyoukai.or.jp/kaigo/support_center_tenshoji/)

### 評価のポイント

- ★施設内でカターレ富山の試合を応援観戦することで、施設の利用者と職員が一体となる機会を創出
- ★カターレ富山の選手との交流や、サポーターとしての社会参加による生活の質の向上

### 取組みを始めた背景・経緯

コロナ禍で利用者、職員ともに閉塞感、ストレスを抱えていた中で「何かワクワクすることができないか、富山にちなんだものはないのか」等、模索していた中で、Jリーグの「社会連携活動」を知り、カターレ富山と連携を図り、高齢者がサポーターとしてカターレ富山を支える側（Be supporters）となり、コロナ禍でも安全に応援できるセンタービューイングに取り組みました。

### 取組みの概要・特徴

- センター内をスタジアムのように着飾る
- カターレ富山のグッズ作成
- タオル回し、リズム手拍子、日記の記入

### 特に工夫したこと

- Zoomでスタジアムと繋ぎスタジアムレポート
- カターレ富山の選手との交流



着飾ったセンタービューイング会場

### 取組みの成果

【施設利用者29名のうち、20名がセンタービューイングに参加】

#### 手拍子参加者

3名 → 12名 **9名増加**



#### タオル回し参加者

2名 → 15名 **13名増加**



#### 日記記入者

0名 → 5名 **5名増加**



#### うちわ作成者

0名 → 4名 **4名増加**



### 意欲の向上 18名 (参加者の9割)

- 利用者と職員が応援するという共通の喜びができたセンター内に一体感ができました。
- 表情や感情が表出しメリハリのある生活を送ることができました。
- カターレ富山を応援する社会的役割を獲得し選手の為に何かしたいという思いができました。
- コロナが収束したら「スタジアム応援」という新たな目標ができました。

# 自立支援部門

社会福祉法人宣長康久会

## 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑

所在地 富山市下夕林141番地

サービス 介護老人福祉施設

電話 076-467-1000

URL <https://www.sasazuen.or.jp>

### 評価のポイント

- ★介護ロボットを活用し、夜間事故6割削減、2年間入院者ゼロを実現
- ★利用者の状態に応じた食事環境を提供することで、食事時のむせ込み等のトラブルを回避し、誤嚥性肺炎を予防

### 取組みを始めた背景・経緯

一人夜勤で、複数回コール、予測不能な出来事に対応出来ず職員の身体的・精神的負担が大きくなっていました。見守り支援ロボットを導入することで、入居者の状態把握や優先順位を考えながら対応することが出来ないかと考えました。

### 取組みの概要・特徴

#### ★介護ロボットの導入

- ① 夜間の睡眠状況アセスメント予測ケアの実践
- ② 主訴を分析（排泄、途中覚醒、その他）
- ③ 覚醒時間データ把握
- ④ 多職種による食事姿勢、食具、食事形態、福祉用具等の再アセスメント
- ⑤ 自助食具のデモ使用、食事形態再確認、可能な限り自力摂取を検討、実施
- ⑥ 食べたい量、食べたい時間、食べたい場所の検証、自己選択を優先実行

#### 【見守り支援システムの活用】



PC画面



職員携帯時

### 特に工夫したこと・苦労したこと

- 見守り支援機器や移乗支援機器等の介護ロボットを導入し、メーカーの実演説明会、施設内の講習及び、腰痛予防・ADL向上委員会で定期的な技術チェックを実施しました。
- 機能訓練指導員を配置し、介護ロボットを使用可能な入居者の残存機能をアセスメント、また限られた場所（空間）での安全な操作方法の確認を実施しました。
- 夜間の睡眠状態を分析し眠りが浅い入居者については、日中の軽作業やリハビリなど運動量を増やすことで熟睡につなげてもらうなど、生活リズム改善に努めていただきました。

### 取組みの成果

- 移乗支援介護ロボットを使用することで、立位困難な方もトイレでの排泄が可能となり、入居者の希望も叶い、表情が明るくなりました。
- 見守りロボットでリアルタイムに状態確認が出来るようになり、転倒・転落事故の減少（R1.9…44件→R3.9…17件）
- 覚醒されたタイミングで、入居者に合わせ食事を提供することで食事時の咽込みが少なくなりました。  
（誤嚥性肺炎による入院者：2年間…0名）
- 入居者様に合わせた良い目覚めが出来ており、満足度が上がり自立支援に繋がりました。



移乗支援介護ロボットの活用



# 自立支援部門

社会福祉法人秀愛会

## ケアハウスそよかぜの郷

所在地 富山市稲代36番地

サービス 特定施設入居者生活介護

電話 076-468-4111

URL <https://syuikai.com/soyokaze2/>

### 評価のポイント

- ★オンライン（Zoom）キャラバンコンサートの生中継を施設で放映し、利用者が映像を楽しみながら機能訓練を実施
- ★キャラバンコンサートに参加する日本全国の介護施設の利用者とZoomを通じた交流を行い、同世代の高齢者とのコミュニケーションを促進

### 取組みを始めた背景・経緯

当施設では、入居者にカラオケサークルやお楽しみ会等で歌と接する機会を多数設けてきましたが、コロナ禍において感染拡大防止のため、皆で集まることを制限されてしまい、「生きがい」「張合い」をなくしていた入居者が沢山いらっしゃいました。そこで、公益社団法人虹の会が開催する無料のオンラインキャラバン（コンサート）を活用し、歌と体操を楽しみながら身体を動かし気分転換を図り「生きがい」を取り戻してもらうため取り組みました。

### 取組みの概要・特徴

令和3年度以降、月に2回、施設にある地域交流室の大型スクリーンと音響設備にパソコンを繋ぎ、Zoomを利用したオンラインコンサート（双方向通信）に参加しました。入居者と職員と一緒にペットボトルマラカス、うちわやボンボンを振り、声援を送り、音楽に合わせて身体を動かし、健康体操や懐かしい歌を口ずさむなど、個々に楽しむことができました。



オンラインコンサートの様子

### 特に工夫したこと・苦労したこと

コロナ禍において、部屋の中でコンサートを楽しみ、体操をするため、感染予防として手指消毒、マスクの着用、定時換気、ソーシャルディスタンスを徹底するため常に職員3人以上が付き添いました。また、開催ごとに参加希望者を募り入場制限（1回20人程度に調整）を行いました。次の開催日までのモチベーション維持のために声援（応援）グッズを入居者と職員と一緒に製作をしました。

### 取組みの成果

画面の出演者から声をかけられ、その後、画面が切替わり大型スクリーンに自分達の映像が映ると、全国の施設から見られていることが分かって気分が高揚し歓声があがりました。

コンサートに行ったことがない、自分がスクリーンに映るといった経験のない入居者が、オンラインで全国の同年代と歌や体操を楽しむことによって張合いや活気が出て、自主的にグッズ製作に参加したいとの申し出がありました。積極的な入居者が増えることにより職員・施設全体に活気が戻りました。

★参加者数の増加 13名（R3.4）⇒21名（R3.8）



出演者との交流を楽しむ様子

# 雇用環境部門

## 社会福祉法人あかね会

所在地 高岡市角561

サービス 高齢者入所、通所、訪問等

電話 0766-24-8800

URL <https://akanekai.toyama.jp/>

### 評価のポイント

- ★役職別に達成目標を細かく設定した新たな評価制度を導入し、管理職の女性比率66.7%を実現
- ★企業主導型保育園で、子育て世代の未就労女性を対象に子連れ説明会を開催するなど、女性職員の積極的雇用に向けた取組を実施

### 取組みを始めた背景・経緯

女性の活躍が必要不可欠となる中で、女性がやりがいを持って、長く働き続けることができる環境を作ろうと思い取組みははじめました。また、若い職員の産休・育休取得者も増え、子どもも親も安心できる環境が必要だと思いました。

### 取組みの概要・特徴

- ① 企業主導型保育園「あさひキッズ」開園 (R1.4)
- ② 評価制度を取り入れて、管理職の女性比率を向上 (R3.4～)
- ③ 産休・育休明け職員への企業主導型保育園活用を案内

年度途中入園がしやすく、育休後スムーズに復帰できるように育休中職員へ企業主導型保育園に関する説明会を開催しました。

- ④ 未就労の母親と子の同時入園入職を推進し、子連れ説明会を開催

説明会、採用面接中の子どもの一時保育の実施や、慣らし保育のスケジュールも鑑みて入職日を決定する等の配慮も行いました。



### 特に工夫した点・苦労したこと

先輩子育て職員の勤務時間や保育園活用方法（病児保育等）を育休中職員へ情報共有し、復帰への不安を払拭しました。

ママ向け情報サイトやハローワークマザーズコーナーを活用し、働きたいけど預け先がない母親をターゲットに子連れ説明会の告知を行いました。

### 取組みの成果

「女性が長く活躍できるモデルケースを見ることができて、頑張ろうと思った」「育休後の仕事復帰のイメージがつきやすく、不安が無くなった」等前向きな職員の声が多くあがるようになりました。

また、令和3年4月時点で未就労からの就労と子の入園が0名であったのが、同年10月には3名に増やすことができました。



# 雇用環境部門

医療法人財団五省会

## 介護老人保健施設みどり苑

所在地 富山市秋ヶ島146番地1

サービス 介護老人保健施設

電話 076-428-5565

URL <https://www.sainouhp.or.jp/>

### 評価のポイント

- ★ロボットタスクチームを立ち上げ、導入効果や効率的な運用方法を検証
- ★職員へのアンケート調査を通じて、介護ロボット活用による効果の把握や効率的な場面・種類を検討し、新規導入を実現

### 取組みを始めた背景・経緯

当苑では平成28年度から見守り支援介護ロボットを導入し、施設で活用してきましたが、職員間での運用方法が浸透しておらず、介護ロボット導入による職員の負担軽減効果がわかりづらい状況が続いていました。

### 取組みの概要・特徴

介護ロボット導入の効果や効率的な運用方法を検証するため、令和2年7月にロボットタスクチームを立ち上げました。厚生労働省の「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業\*」の相談窓口である富山県介護実習・普及センターのサポートを受けながら、職員向けのアンケートを実施しました。

#### 【当苑で活用しているロボット】



① 赤外線センサーで利用者の動きを検知し、通知することで、ベッドからの転倒防止を図る見守り支援介護ロボット



② マットレス下のセンサーから利用者の睡眠時の呼吸や脈拍等を把握する見守り支援介護ロボット

また、月1回の定期ミーティングで課題解決のために必要な機器の導入について検討し、経営層と相談のうえ令和2年度に新たに見守り支援介護ロボットを導入し、施設内の介護ロボット設置台数は計41台まで増加しました。

※介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業…①地域における相談窓口設置、②リビングラボ（開発の促進拠点）を含むネットワーク形成、実証フィールドの整備等を行う。

### 特に工夫した点・苦労したこと

職員向けのアンケートを実施するにあたり、東京の事業担当者とは複数回に渡るオンラインミーティングを実施しました。アンケートの結果、介護ロボット導入前に比べて負担が減ったと回答したのは8割で、身体的にも精神的にも負担が減り働きやすい職場となっていることがわかりました。この取組結果を法人内の研究発表会で発表し、チームのモチベーションアップにもつながりました。



### 取組みの成果

- 介護ロボット導入割合は令和2年4月時点の25%から、令和3年10月時点で41%へ改善しました。
- ロボットタスクチームの活動を経て、介護ロボットの導入は腰痛予防や人員不足解消のほかに、働きやすい環境づくりにつながっていることがわかりました。また、介護ロボットの導入が目的ではなく、いかに活用していくかが重要であることをメンバーが実感し、介護ロボット導入を前向きに捉えることができました。

# 雇用環境部門

## 社会福祉法人喜寿会

所在地 射水市七美891

サービス 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスセンター

電話 0766-86-2500

URL <http://kijukai.or.jp>

### 評価のポイント

★腰痛リスクを計測する機器を使い、数値データで腰痛予防の効果を可視化することで、腰痛予防の取組を推進していく意識を醸成

### 取組みを始めた背景・経緯

当法人では、平成29年から腰痛予防プロジェクトを実施し、職員の主観尺度によるアンケートで腰痛予防効果を実感していましたが、客観的数値データを取ることができていませんでした。

### 取組みの概要・特徴

新しく開発された、前傾姿勢と腰の捻りの2つの不良姿勢の回数と継続時間を計測して腰痛リスクを分析する機器を使い、職員の腰痛予防の効果を数値データで可視化しました。



- ① 集計用タブレット
- ② 装着センサー
- ③ 装着用腰ベルト
- ④ 防水ケース

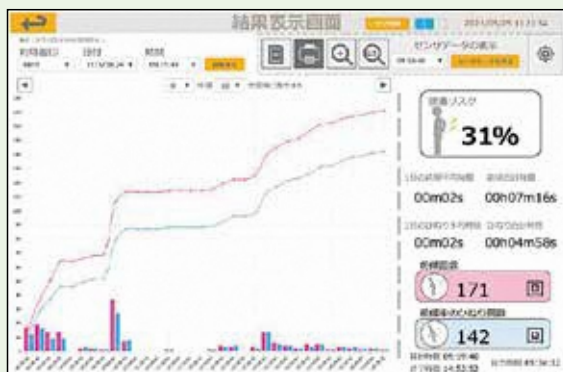
### 特に工夫した点・苦労したこと

福祉用具と介護ロボット・ICTを効果的に組み合わせる相乗効果を出せるようにして、利用者と職員双方にとって安心・安全・安楽な介助を行えるように工夫しています。

### 取組みの成果

どの時間にどの作業で不良姿勢をしているか分析できますので、①職員個人の動作改善と、②職場環境改善の2つの観点での改善項目が明確になりました。そして、腰痛予防の取組が具体的な数値データで可視化ができたことで職員に自信が付き、より一層、腰痛予防の取組を推進していくという意識が醸成されました。継続的に計測することで、職員間で腰痛リスクとなる動作の回数・時間の減少を競い合うなど、切磋琢磨につながっています。

### 計測結果



計測結果 (2021年3月、11月)	喜寿会	他の特養・老健 165人	
	13人の平均	モデル職員	日勤
計測日			
腰痛リスク	33%	38%	58%
前傾回数	272	767	803
前傾中のひねり回数	249	800	976
前傾時間合計	0:13:20	0:44:43	1:33:42
ひねり合計時間	0:11:06	0:45:13	1:24:59
1回の前傾平均時間	0:00:02	0:00:03	0:00:08
1回のひねり平均時間	0:00:02	0:00:03	0:00:18
前傾率	3.5%	8.9%	18.7%
ひねり率	2.9%	9.0%	17.0%
総合時間	6:21:22	8:21:44	8:20:30

# 〈参考〉昨年度受賞団体（令和2年度）

## 【要介護度維持改善部門】

サービス	事業所名	取組概要
介護老人保健施設	老人保健施設 エルダーヴィラ氷見 (氷見市)	<p><b>多職種が連携した転倒・転落予防の一体的実施により事故件数が減少</b></p> <p>厳しい雇用情勢により未経験の新人職員が増加する中、慣れない職員でも安全な介護を実現するため、看護・介護・リハビリ職など多職種が連携して、入所者全員のベッドまわりの環境や移乗の仕方など個人の自立度に応じて設定。</p> <p>一目見てわかるようイラストにして掲示した結果、転倒・転落事故件数が減少した。</p>

## 【雇用環境部門】

法人・事業所名	取組概要
社会福祉法人戸出福祉会 (高岡市)	<p><b>男性職員の育児休業取得率100%を実現</b></p> <p>男性職員の育児休業取得のために、社会保険労務士による制度説明、取得日数による収入面などのシミュレーション作成、他職員への説明の実施等に取り組んでいる。</p> <p>男性職員の育児休業取得のハードルが下がり、取得者がいなかった状況から該当男性職員が希望する日数の育児休業の100%取得に繋げ、職場内での気軽な助け合いが実現できている。</p>
社会福祉法人宣長康久会 (富山市)	<p><b>コロナ禍で介護ロボットやICT導入により職場環境改善の追加整備を含む感染拡大防止を図りながらサービスの継続、対応状況の情報提供等を実現</b></p> <p>法人の生産性向上のために情報共有ソフトの更新などリモートワーク環境整備とともに、職員の新型コロナウイルス感染発生後、感染拡大防止で成果をあげた。</p> <p>また、マスクみや県内外事業所等への積極的な情報提供や、他施設との給食相互提供協力協定の締結などにも取り組んでいる。</p>
(社会福祉法人喜寿会) 特別養護老人ホーム 七美ことぶき苑 (射水市)	<p><b>介護ロボット等の導入による接触点・接触機会が半減することを調査により明らかにし、利用者の不安解消と職員のストレス解消を実現</b></p> <p>福祉用具と介護ロボット等を導入してきた効果について介助時の接触点や訪室などの接触機会の調査を行い、半減できていたという調査結果を活用し、コロナ禍での介助による感染リスクに対する利用者の不安解消と職員のストレス軽減に取り組んでいる。</p> <p>また、接触箇所の特定が容易となったことを活かし、重点的な消毒の実施にも取り組んでいる。</p>
社会福祉法人梨雲福祉会 (富山市)	<p><b>新型コロナウイルス感染の疑い発生時に、早急な対応体制の整備と実行を実現</b></p> <p>職員の新型コロナウイルス感染の疑い発生に際して、結果判明まで、職員の出勤停止やゾーニングの対応、人員固定配置、職員の宿泊部屋等の準備、職員勉強会の開催など着実に法人内の体制整備・実行に取り組んだとともに、今後発生した場合への職員の安心感の醸成や、冷静で早急な対応づくりに繋げている。</p>



## がんばる介護事業所表彰

令和4年3月発行

---

編集発行／富山県厚生部高齢福祉課  
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号  
TEL 076-431-4111(代)